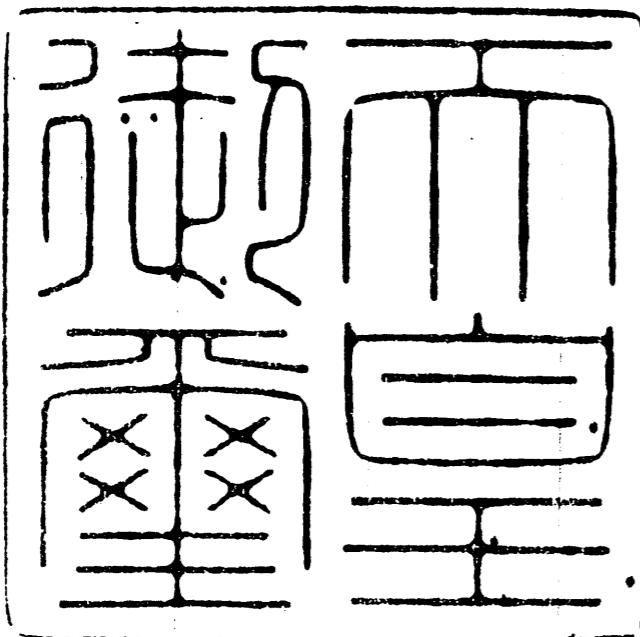


勅令第千百四十號

朕關東州防空令中改正ノ件ヲ  
裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

裕仁



昭和十六年十二月十六日

ノ

月

内閣總理大臣兼  
陸軍大臣

東條英機

勅令千百四十號

關東州防空令中左ノ通改正ス

第一條第一項但書ヲ左ノ如ク改ム

但シ同法第七條、第十三條第四項、第十四條第二項、第十五條

第六項、第十六條乃至第十七條ノ二、第二十條及第二十二條ノ

規定ハ此ノ限ニ在ラズ

同條第二項中「第十六條ノ規定ヲ除クノ外」及同條第三項但書ヲ  
削ル

同條第四項中「防空委員會トアルハ關東州防空委員會トシ市町村  
長トアルハ市長トシ」ヲ削リ同條ニ左ノ二項ヲ加フ

同法第五條ノ三及第十二條第二項中市町村長トアルハ市長又ハ

民政署長トシ其ノ他ノ規定中市町村長トアルハ市長トス  
同法第十一條中行政官廳トアルハ大使・關東州廳長官・關東軍司令官・旅順警備府司令長官トス

第一條ノ二 關東軍司令官及旅順警備府司令長官ハ陸海軍ノ行フ  
防衛ニ則應セシムル爲防空計畫ノ設定上基準ト爲ルベキ事項ヲ  
定メ之ヲ大使ニ提示スベシ

第二條第一項中「監視網構成ノ概要ニ付及」ヲ「監視網構成ノ概要ニ付防空計畫ノ設定上必要ナル事項ヲ關東州廳長官ニ」ニ、  
「防空計畫ノ設定者」ヲ「關東州廳長官・防空法第二條ノ規定ニ  
依リ指定セラレタル市長又ハ同法第三條第一項ノ規定ニ依ル防空  
計畫ノ設定者」ニ改ム

第二條ノ二 防空計畫ヲ設定スル場合ニ於テハ陸海軍ノ行フ防衛  
ニ則應セシムル爲必要アル事項ニ關シテハ大使ハ關東軍司令官  
・又ハ旅順警備府司令長官ニ・關東州廳長官ハ旅順警備府司令長  
・官又ハ旅順要塞司令官ニ協議スベシ

第四條ノ二 防空ノ實施ニ際シ關東軍司令官又ハ旅順警備府司令  
長官ハ防空ノ實施ニ付陸海軍ノ行フ防衛ニ則應セシムル爲必要  
ナル事項ヲ大使ニ請求スルコトヲ得  
緊急ノ必要アルトキハ旅順警備府司令長官又ハ旅順要塞司令官  
ハ防空ノ實施ニ付陸海軍ノ行フ防衛ニ則應セシムル爲必要ナル  
事項ヲ關東州廳長官ニ請求スルコトヲ得

第八條第一項中「第十條第三項」ヲ「第十條第二項」ニ改ム

第九條第一項中「第十三條第一項」ノ下ニ「乃至第三項」ヲ加へ  
「又ハ使用」ヲ「、使用・除却・改築・廢止・變更其ノ他ノ措置」  
ニ改ム

第九條ノ二 防空法第十二條第二項ノ規定ニ依ル扶助金ヲ給スル  
ニ要スル費用ハ市長ノ給スルモノニ在リテハ市・民政署長ノ給  
スルモノニ在リテハ關東州地方費ノ負擔トス

第九條ノ三 防空法第十五條第三項ノ規定ニ依リ建築物ノ所有者  
ノ負擔スル費用ニ對シテハ市ノ區域内ニ在ル建築物ニ係ルモノ  
ニ在リテハ市・其ノ他ノ建築物ニ係ルモノニ在リテハ關東州地  
方費ハ其ノ三分ノ二以内ヲ補助スペシ

防空法第十五條第四項ノ規定ニ依リ物件ノ管理者又ハ所有者ノ

負擔スル費用ニ對シテハ關東州地方費ハ其ノ二分ノ一以内ヲ補  
助スペシ。

第十條第三號ヲ左ノ如ク改ム

三、防空法第十五條第五項又ハ本令第九條ノ二ノ規定ニ依リ同  
法第三條第一項ノ規定ニ依ル防空計畫ノ設定者又ハ關東州地  
方費若ハ市ノ負擔スル扶助金  
四、防空法第十五條第七項ノ規定ニ依リ關東州地方費ノ負擔ス  
ル損失補償金

五、前條ノ規定ニ依リ關東州地方費又ハ市ノ負擔スル補助金  
第十條ノ二 防空法第五條ノ三ノ規定ニ依リ市長又ハ民政署長ノ  
施行スル防火改修工事ニ要スル費用ハ市費又ハ關東州地方費ヲ

内閣

閣

以テ一時繰替支辨スベシ

前項ノ規定ニ依リ繰替支辨シタル費用ノ辨償金ノ徵收ニ付テハ  
國稅徵收ノ例ニ依ル

前項ノ辨償金ニシテ辨償ヲ得ザルモノアルトキハ國庫ハ關東州  
地方費又ハ市ニ對シ其ノ損失ノ二分ノ一ヲ補償ス

附則

本令ハ昭和十六年法律第九十一號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

關東州防空委員會令ハ之ヲ廢止ス